

令和2年度新潟県原子力防災訓練実施報告(追加分)

○訓練結果の検証

(1) 参加者の主な感想（アンケート自由欄から）

参加して良い経験をさせていただいた等、理解をいただきいた意見がある一方、要望・指摘・疑問等の意見も多くあった。

- ・ 訓練参加者の増加、高齢者や要介護者の避難訓練を検討してみても
- ・ 車両の誘導者の人員不足や指示不足を感じた
- ・ 原子力災害時に、バスの確保は大丈夫なのか
- ・ 自家用車、バス両方混ぜて訓練したらと思う。
- ・ 訓練参加時に、膝の痛い私には階段がとでもきつく、手助けもしてもらえなかった。もう少し優しさが必要なのでは…
- ・ 天候が厳しい時の対応も考えてほしい。避難経路地は、テント等でスルーできた方がよい。
- ・ 回数を重ねる事が大切だと思う。日頃の備えが必要と思った。

(2) 参加職員の主な感想

- ・ 発熱者用に専用にバスを確保するのは難しいのではないかと。車内を間仕切りする等、検討が必要
- ・ 訓練参加者の理解の向上のため避難先等で研修の時間を設けてもよいのではないかと
- ・ バスのみでなく、様々な交通手段（JR等）を利用した訓練も検討すべきではないかと
- ・ 安定ヨウ素剤の緊急配布は、多人数に対処する配布体制について検討が必要
- ・ 避難訓練のバス内で資料を使った研修を行ったが、添乗する職員により説明の差があった。

(3) 訓練で見えた課題

- ・ バス避難における明確化されていない点の検討
(感染症対策、一時集合場所の情報共有、必要台数等)
- ・ 避難経路所、避難所の運営の人員体制の確保と役割分担の明確化
- ・ 避難経路所での避難車両の誘導、避難者・発熱者の導線の再検討
- ・ 時期、気象条件に応じた受入体制
- ・ 自家用車避難への対応
- ・ 高齢の避難者に対する受入体制
- ・ 避難者情報をスムーズに確認できるシステムの構築